

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	675 施設管理経費	会計	13	サービスエリア特別会計
		款	01	総務費
		項	01	一般管理費
基本 施策	44 資源ともなしの心を活かし、観光を振興する	目	01	サービスエリア施設管理費
		細目	639	施設管理経費
		細々目	31	施設管理経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード	191400		担当者
	名称	産業建設部 商工労働観光課	氏名	福森 靖
		連絡先	43 - 2306 (内線) 370	

### 事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	サービスエリア(道の駅いが)利用者	※対象件数
成果(どうする)	サービスエリア(道の駅いが)を利用の方が快適に利用でき、利用者が増加することにより伊賀市の観光振興及び特産品の振興が図れる。	
根拠法令・要綱等	伊賀サービスエリアの設置及び管理に関する条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	・施設維持管理業務 ・花壇植栽業務委託 ・除草業務委託 ・施設管理基金積立	
社会情勢 の変化等	新名神高速道路の完成により利用者が減少している。県内の自動車専用道路初のドッグランの設置を平成22年度に計画。 平成22年度よりサービスエリア特別会計は、商工労働観光課予算となっている。	

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	株式会社安全
2 配置人員	人
3 年間運営費	7,087 千円
4 市内の 類似施設	道の駅「あやま」

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標	実績	目標	実績
	特産品売上高	千円	31,423	30,744	31,000	31,000

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	実績	目標	実績
	施設利用者数(レストラン、売店、スナック利用者)	施設利用者が増加することにより、伊賀市を多くの人に周知でき振興が図れる	万人	50	55	51	53

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
	直接事業費計 (A)		9,628		23,224		15,320	
A の 財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他		9,628		23,224		15,320	
	一般財源		0		23,224		0	
	事業投入人件費 (B)	0.3 人	2,160	0.3 人	2,160	0.3 人	2,160	
	フルコスト(A)+(B)		11,788		25,384		17,480	

### 事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
効率性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	
昨年度 の取組状況	【状況】 【詳細】

### 今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	松本 浩典
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	特産品の売上は減少しているが、施設全体の売上は増加しており黒字経営であるため現状の方法で管理していく。
現時点における課題、その他	新名神高速道路の完成、休日ETC割引により名阪国道の利用者が減少傾向にあり、サービスエリアの利用者の減少が懸念され、売上高の減少に繋がる。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	特産品や地元食材などを使用したレストランメニューの開発等により、地域の特色を出した施設運営に努める。